

# 院内がん登録

がんセンター 横井 美由紀



2019年分の「院内がん登録」の集計結果をご報告いたします。

院内がん登録は、病院で診断、治療された全ての患者さんのがんについての情報を診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。がん検診で見つかった患者さんが多いのか、それとも他の病気でかかっているうちに発見された患者さんが多いのかなど受診までの経過の違いやがんの種類別の違い、あるいは手術の数が多いか少ないかなど病院のがん診療の特徴を把握するために定期的に行われています。

**登録対象** 入院外来を問わず、下記の期間中、新たに受診・診断・治療の対象となった腫瘍

**期間** 2019年1月～12月

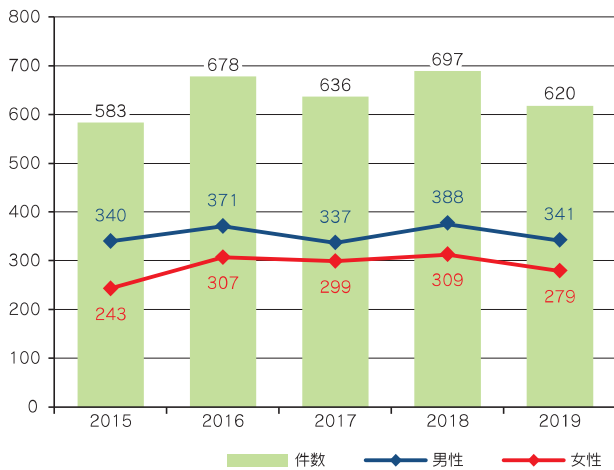
**件数** 全登録数635件のうち、症例区分80その他を除く ※集計対象件数：620件

※国立がん研究センターがん対策情報センターが実施する全国集計において症例区分80その他を除外したデータを集計対象と定義しています。症例区分80には、他施設で診断され治療目的に紹介されたが、治療が行われず他施設へ紹介となるようなケースの症例が分類されます。

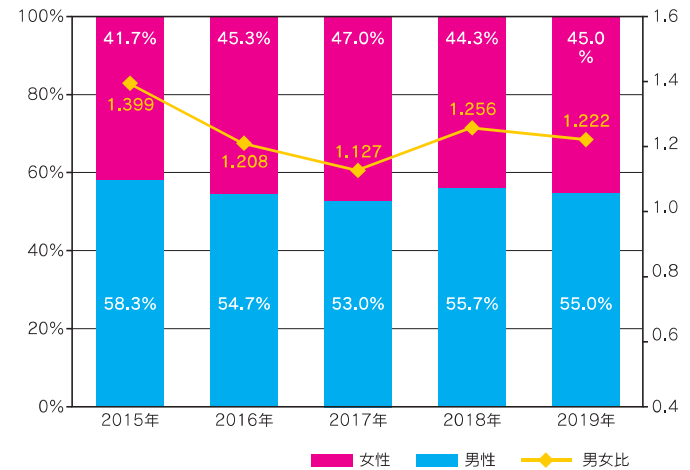
◆がん登録件数は医療機関で診断、確認された症例数であり、がん発生数罹患数とは異なります。同一症例が他の医療機関でも重複登録される場合があることから、場合によって両者に大きな差が生じることがあります。

◆個人情報につきましては、法令および厚生労働省のガイドラインに基づき適正に取扱い、保護、管理を行っています。

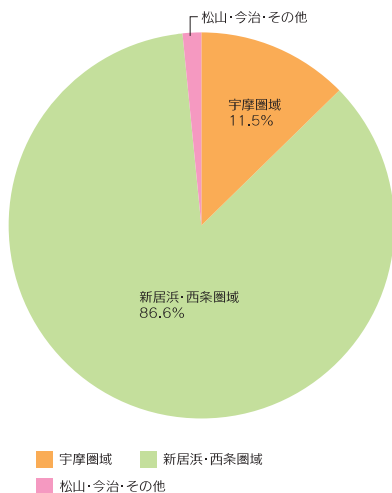
## ●登録数の年次推移



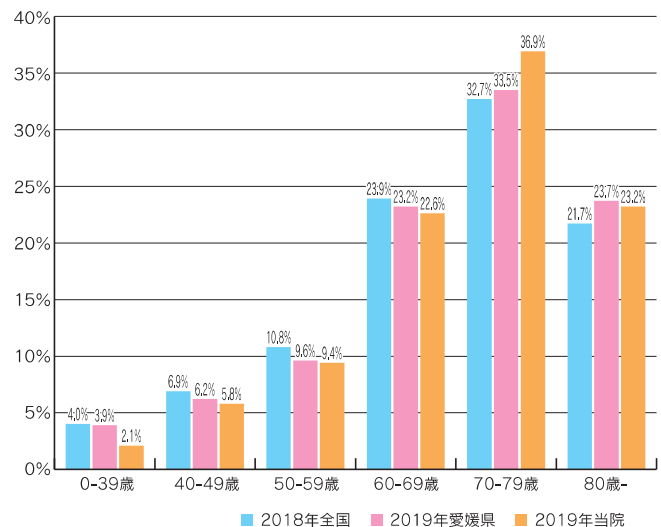
## ●男女比の年次推移



## ●診断時住所別の登録割合



## ●年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



## ● 部位別登録数(10未満は幅を持たせた表記としています)

2019年症例の部位別登録数上位5部位は、大腸(102)、前立腺(93)、胃(82)、乳房(81)、膀胱(33)です。

診断年	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
口腔・咽頭	(4~6)	-	11	1.6%	13	2.0%	(7~9)	-	(7~9)	-
食道	12	2.1%	16	2.4%	14	2.2%	18	2.6%	(7~9)	-
胃	63	10.8%	65	9.6%	83	13.1%	66	9.5%	82	13.2%
結腸	56	9.6%	66	9.7%	54	8.5%	68	9.8%	61	9.8%
直腸	19	3.3%	31	4.6%	35	5.5%	36	5.2%	41	6.6%
肝臓	35	6.0%	33	4.9%	27	4.2%	24	3.4%	21	3.4%
胆嚢・胆管	11	1.9%	(7~9)	-	(7~9)	-	15	2.2%	10	1.6%
膵臓	28	4.8%	26	3.8%	35	5.5%	26	3.7%	21	3.4%
喉頭	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-
肺	59	10.1%	34	5.0%	45	7.1%	29	4.2%	22	3.5%
骨・軟部	(1~3)	-	(1~3)	-	0	-	0	-	(1~3)	-
皮膚(黒色腫を含む)	20	3.4%	29	4.3%	25	3.9%	23	3.3%	20	3.2%
乳房	53	9.1%	78	11.5%	80	12.6%	80	11.5%	81	13.1%
子宮頸部	28	4.8%	35	5.2%	34	5.3%	30	4.3%	16	2.6%
子宮体部	10	1.7%	16	2.4%	10	1.6%	(4~6)	-	(7~9)	-
子宮	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
卵巣	0	-	(1~3)	-	(1~3)	-	13	1.9%	(1~3)	-
前立腺	58	9.9%	86	12.7%	55	8.6%	68	9.8%	93	15.0%
膀胱	31	5.3%	54	8.0%	36	5.7%	44	6.3%	33	5.3%
腎・他の尿路	26	4.5%	19	2.8%	13	2.0%	41	5.9%	25	4.0%
脳・中枢神経系	(4~6)	-	(4~6)	-	(4~6)	-	17	2.4%	(4~6)	-
甲状腺	13	2.2%	18	2.7%	19	3.0%	21	3.0%	(4~6)	-
悪性リンパ腫	24	4.1%	14	2.1%	16	2.5%	15	2.2%	19	3.1%
多発性骨髄腫	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-
白血病	(1~3)	-	(4~6)	-	(4~6)	-	(7~9)	-	(7~9)	-
他の造血器腫瘍	(1~3)	-	(4~6)	-	(7~9)	-	10	1.4%	(1~3)	-
その他	16	2.7%	10	1.5%	(7~9)	-	22	3.2%	21	3.4%
合計	583		678		636		697		620	

当院のがん登録者数は、この5年間は年間600人前後で推移しており、地域医療にある程度貢献できていると考えています。常勤の専門医が在籍していることが多くの方々に認知されつつあり、周囲の医療施設からの紹介も多くなっています。

がん診療に必要な専門医を招聘しつつ、中長期的な視野に立ち院内のコメディカルへのトレーニングを継続的に行い、がん治療に関して三大治療(手術、薬物、放射線)の進歩に対応できるように整備を進めています。手術療法に関しては、2019年に手術支援ロボットを導入し、泌尿器科領域ばかりでなく直腸がんへの利用がルーチン化し、現在では、胃がんに対しても愛媛大学の指導のもと取り組みを始めています。薬物療法に関しては、高い専門性を有するがん化学療法認定看護師やがん専門薬剤師といった専門スタッフと協力しながらチーム医療で取り組み、きめ細かな対応により有害事象の早期発見、重症化回避に努めています。放射線治療に関しては、2018年に腫瘍のみに放射線を集中して照射できる上位機種に更新し、前立腺がんをはじめとしての実運用が始まっています。

一方、がんに伴う身体や心の苦痛症状を和らげるために受け入れが可能な緩和領域も取り組みを欠かせません。2021年から緩和病棟の運用を視野に入れた取り組みを始めます。愛媛県東予東部地域において地域がん診療連携拠点病院は当院のみであり、がん診療レベルの均てん化に対応する責務があります。対応できつつある領域とそうでない領域が混在しているのが当院の現状ではありますが、取り組むべき課題や方向は見えています。地域がん診療連携拠点病院として十分機能できるよう、これからも整備を進めて参ります。

(がん診療部長・副院長 加藤 勤)